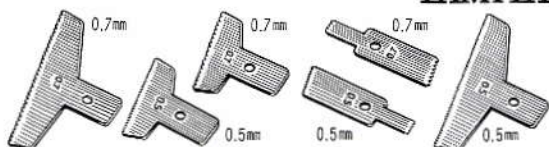


# ZIMMERIT COATING APPLICATOR

## 1/35ドイツ戦車 コーティングブレードセット



●ツィメリットコーティングは第2次大戦後期に吸着地雷よけとしてドイツのツィンメル化学工業が開発したもので、成分はポリビニル、木質繊維、硫化バリウム、黄土と硫酸亜鉛を化合し、組み立てる段階で車体に施されました。このペースト状のコーティング剤は車体に施す時、いっしょに表面に刻みを入れると剥れにくく、吸着地雷が吸着しにくくなるので大変有効だったようです。このコーティングのパターンは数種類あるようですがこのコーティングブレードを使うと縦横2種類のパターンを刻むことができます。

●コーティングを始める前にタミヤポリエステルパテ(以降パテ)とパテを練る1mm厚のプラバン、パテを練るヘラ、ウエス、使わなくなった歯ブラシ、タミヤマスキングテープ、カッターナイフ、コーティングしたい実車の資料などをご用意下さい。

●Tamiya's Zimmerit Coating Applicator is useful when simulating the "Zimmerit" coating on 1/35 German tank models of the World War 2 period. It was applied to the vertical surfaces of tanks, to prevent magnetic mines from sticking.

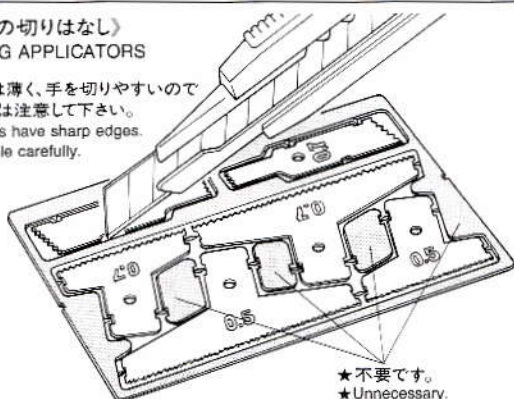
●Items required: Tamiya Polyester Putty, masking tape, old toothbrush, rag etc. Reference photos of the full-size tank will be helpful.

### 〈ブレードの切りはなし〉

#### REMOVING APPLICATORS

★ブレードは薄く、手を切りやすいので取り扱いには注意して下さい。

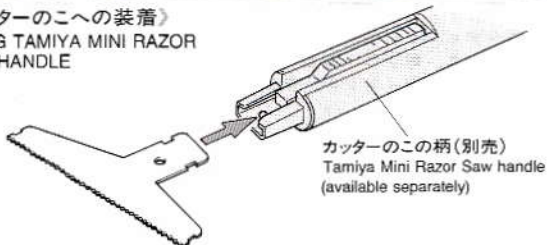
★Metal parts have sharp edges. Please handle carefully.



★不要です。  
★Unnecessary.

### 〈カッターのこへの装着〉

#### USING TAMIYA MINI RAZOR SAW HANDLE



★カッターのこの柄を使えばより使いやすくなります。

★Tamiya Mini Razor Saw handle (Item No.74018) can be used as shown.

### 〈ツィメリットコーティングの施し方〉

●これから先は1/35ドイツキングタイガーヘンシェル砲塔へのコーティングを例に説明していきます。キングタイガーは全て横パターンなのでパンサーなどの縦パターンを刻む時はコーティング方向を確認の上、※印を参考に作業して下さい。コーティング

図-1



横パターン  
Horizontal

図-2



縦パターン  
Vertical

ブレードには0.5と0.7の目の粗さの違うものと幅の違う（以降ブレード）計8種類がセットされています。コーティングする車輛によってそれぞれパターンの粗さが違うので使いわけて下さい。狭い所に使用する際は作業しやすいブレードを選びご使用下さい。

①コーティングしたくない部分やショック等で剥れ落ちた表現をしたい部分をマスキングテープでマスクします。

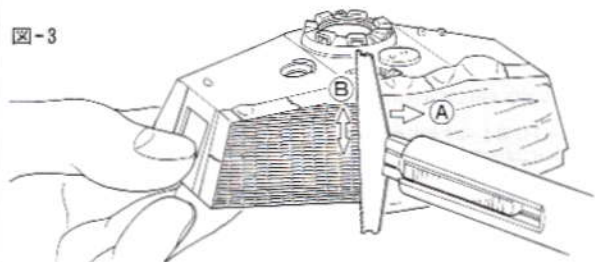
②パテを用意します。パテは主剤と硬化剤を混ぜて使いますが主剤の成分が分離している場合があります。分離している透明な液体はそのまま混ぜ合わせると、パテがやわらかくなりすぎてコーティングの凹凸が崩れてしまうのでウエスで吸い取って下さい。

●ポリエステルパテの使用法をよく読んでご使用下さい。

③混ぜ合わせたパテは約5～10分で硬化し始めるのでこの時間内に作業できる範囲内に1mmくらいの厚さに塗り広げます。

④例に上げた車輛は0.7の一番幅の広いブレードを使用します。横パターンを刻むので図-1を参考に左から右（右から左へでもかまいません）へ刻んでいきます。まずパテを塗った面の左端にブレードを車体に対して垂直にあて、右方向に4mmスライドさせます（図-3A）。ブレードは持ち上げずそのまま上下に2mm程スライドさせ（図-3B）、右方向に4mm、上下に2mmを最後までくり返してパターンを刻んで下さい。※縦パターンを刻む時は横パターンとは逆に上又は下から縦に刻んでいきます。刻む幅ややり方自体は横パターンと同じです。ただ刻む方向が違うので、縦パターンにするとブレードよりコーティング面の方が大きくなってしまいます。パターンを合せながら注意して刻んで下さい。

図-3



⑤パターンは順調に刻めれば良いのですが、万が一失敗してしまった時は、パテが硬化する前であればブラバンなどの切れ端などでパテをそぎ落とすことができます。ただしそぎ落したパテはすでに硬化が進んでいるので再使用しないで下さい。

⑥コーティングし終わったらマスキングを剥します。マスキングは硬化後は剥しにくく、余分な部分のパテまで剥れてしまう場合がありますので注意します。パテは約1時間で硬化しますが、9～10時間おいたのち、きめの細いやわらかいワイヤーブラシで表面をこするとリアリティのある表面に仕上がります。ただしワイヤーブラシはかけすぎないように注意します。

⑦コーティングに使用したブレードは再使用するため硬化前にウエスでふき、歯ブラシで目に詰ったパテをきれいに取り除きます。

●以上でコーティングの作業は終了です。パテの硬化後は自由に塗装ができます。

#### ZIMMERIT COATING SIMULATION

① First apply masking tape to surfaces where Zimmerit is not desired, and when reproducing a chipped-off coating.

② Mix polyester putty and hardener to a 50:1 ratio. It will begin hardening in 5 to 10 minutes. Prepare only required amount.

③ Apply a 1mm thick coat of putty to the desired surface.

④ For horizontal patterns, set the applicator perpendicular to the surface and slide it about 4mm sideways, keeping it vertical. Raise or lower the applicator 1mm in the perpendicular plane and repeat the procedure again. Keep repeating this until the desired result is achieved.

※ For vertical patterns, set the applicator horizontally and move it vertically.

※ There are 4 widths of applicator blades and they have either 0.5mm or 0.7mm serration pitch. Use according to the model and surface.

⑤ If the desired result cannot be obtained, the putty can be removed from the surface prior to curing. Do not reuse the removed putty in that case.

⑥ If masking tape was applied, remove it prior to the putty becoming completely cured.

⑦ Upon completion, remove putty from the applicator using rag and old toothbrush.

● Paint the model after the putty has completely cured.

● For a realistic finish, rub lightly the coated surface with a soft wire brush. Be careful not to overdo this.